

### 好きなものに囲まれた創作の部屋

(左)芸術大学の大学院生の林さん。「部屋で絵を描くことが多いので、好きなものを置くようにしています」。ベッドサイドには、ラヴェンダーのサシェとともに友人からもらった小物が。チェックの毛布は、留学していたイギリスで買ったもの。(右)デスク周りにはカード類をピンクのマスキングテープでディスプレイ。

## ビッグスケール シェアハウス

### DATA

物件名:クーベルチュール代々木公園 所在地:東京都渋谷区  
 シェア人数:22人 広さ:541.34㎡  
 うち専有スペース 林さん15.7㎡、大嶋さん12.5㎡、横田さん14㎡  
 構造:木造+鉄筋コンクリート 築年数:26年(1年前にリノベーション)

### いろいろなイ集まるダイニング

住人が思い思いに寛ぐダイニングには、カラフルなプラスチック素材のイスとほっこりとした味わいのある木のイスが互い違いに並ぶ。それぞれ個性がある大人の女性たちが暮らす、この家らしい空間だ。入居者が生活していくうちに、少しずつものが増えたり、ディスプレイが変わっていくのも楽しい。



### ファブリックを使ったエキゾチックな空間

(左)旅行が好きという大嶋さんは、海外でインテリアグッズを買い求めることも。写真のじゅうたんはギリシャで購入。(右)インテリアショップで働く大嶋さんがこだわっているのは「彩りのある空間づくり」。立体感のある紫のクッションカバーは「Shades of India」、黄色のクッションは「THE CONRAN SHOP」のもの。



### 木の質感があたたかいほっこりルーム

(左)「畑」が趣味の横田さん。「食」にもこだわりがあり、忙しい毎日でもきちんと自炊している。食器は共用のものもあるが、雑貨屋などで少しずつ集めた自分のものを使うことが多く、部屋にはお母さんから買ってもらった食器棚も。(右)木製の家具が置かれナチュラルな雰囲気の横田さんの部屋。

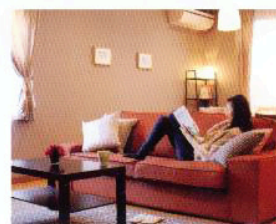
## 外国人向けの邸宅をリノベーション 大人の女性が集うシェアハウス

都心の閑静な住宅街にある、外国人向けの大邸宅をリノベーションしたシェアハウス。共用のリビング・ダイニングには、どしりとしたデンマーク製の家具が置かれ、22人もの住人がいるとは思えないほど静かで落ち着いた雰囲気だ。転職で引っ越してきた横田裕子さんは「自室にキッチンやバス、トイレがないぶん、個室が広いので、部屋づくりが楽しめる」とシェアハウスの魅力を語る。林 加奈子さん

と大嶋めぐみさんは、留学先でルームシェアを経験し、日本でもシェアハウスを選んだ。「とても大きな家なので、大人数がいてもほどよい距離感で暮らせています」と大嶋さん。一つひとつの部屋は間取りや壁紙も違うため、インテリアも十人十色。「いろいろな部屋に、いろいろな個性の人たちが住んでいる。面白いですよ」と林さん。ゆるやかなつながりの中で、それぞれが自分のスタイルを楽しんでいるようだ。

### Share Point

#### ラグジュアリーな空間でリラックス



もともと外国人向けの邸宅だったため、リビングやダイニングはもちろん、廊下やキッチンも広々の大空間。普通のひと暮らしとは違い、この大きなスペースをゆったり賢気に使うことができるのがうれしいところだ。「泊まりにきた友人にも大好評です」と大嶋さん。女子トークもはずみそう!